



ほけんだより



チャイルドハウスこども園

猛暑が続いています。今年も、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、この季節ならではの楽しいイベントなども中止になっています。少し物足りないと感じてしまいますが、感染爆発の兆しもある中、引き続き気を引き締めて対策をとっていきましょう。

夏に多い感染症

ウイルス感染によって起こる病気です。他人への感染力も強いので、必ず受診をして医師の診断を受けましょう。

ヘルパンギーナ

突然の高熱と喉の痛み、口の中の水ぼう、口内炎が特徴です。症状が軽ければ1～4日くらいで解熱します。



プール熱

プールで感染することがあります。高熱が3～5日くらい続き、喉の痛み、目の充血やかゆみなど結膜炎のような症状も出ます。



手足口病

手の平・足の裏・口の中に水泡が出来、発熱することもあります。



流行性角結膜炎

目が腫れ、充血し、普段より多く目やにや涙が出ます。周りの人に移る原因となるので、タオルは共用しないようにしましょう。

※夏の感染症の中には、登園前に医師の登園許可を受けてもらう必要のある病気もあります。登園の基準も十分に確認していただき、再受診をお願いいたします。

健康の様子

7月の中旬までは、病気でお休みするお子さんもおられました。長引かず、家庭療養後は元気に登園することができました。下旬から、4歳児クラスを中心に、各年齢で熱や鼻水・咳が出るなどの体調不良で欠席されるお子さんが増え、中には、「RS」の診断を受けるお子さんもおられます。

夏は高温多湿となり、体力を消耗しやすい季節です。規則正しいリズムと、栄養のある食事、十分な睡眠をしっかりとるように心がけましょう。また、保護者の方がお休みの日は、ご家庭でゆっくり過ごす時間を設けていただき、子どもたちが、暑い夏を元気に過ごせるよう、ご協力をお願いします。

8月の保健行事

身体計測

- 19日(木) 5歳児
- 20日(金) 1号認定児
- 23日(月) 0～2歳児
- 24日(火) 3歳児
- 25日(水) 4歳児



RS ウイルス感染症ってどんな病気？

ウイルスの特徴：どこにでもいる風邪のウイルスの仲間。何度でも感染する。

年長児や大人がかかると、「鼻風邪」と診断されることも多い。



潜伏期間：2～8日

症状：発熱・鼻水・軽い咳などの症状が2～3日続く。

悪化すると、ゼーゼー・ヒューヒューという呼吸音がする「喘鳴」や息を吸い込むと胸のあたりが陥没する「呼吸困難でチアノーゼ」が出現する。

感染経路：くしゃみ、せきによる飛沫感染

ウイルスに触れることによる接触感染

予防対策：手洗い・咳エチケット・おもちゃや身の回りの消毒



治療法：ワクチンや特効薬はありません。基本的には、発熱や咳・鼻水といった症状を和らげる薬を使っ
ての治療になります。

登園のめやす：熱が下がってから1日は様子を見ましょう。

ゼーゼー・ヒューヒューという呼吸音や咳が続く場合は登園の前に受診し、医師の診断を受け
ましょう。

8月7日は『鼻の日』 鼻を大切にしよう！

においをかぐだけじゃない!!鼻の働き!

★呼吸をする

★鼻は天然のマスク

鼻毛は、空気中のバイ菌やウイルスを取り除く、フィルターの役割をしています。鼻水・鼻づまりは、大丈夫ですか？

いろんな病気を防ぐためにも、鼻が出ていたらしっかりかんで、拭いて鼻の大事な働きを守りましょう！

鼻血

鼻のトラブル

子どもは鼻の粘膜や血管が弱いので、指を入れたり、軽くぶつかっただけでもすぐに出血してしまいます。よく鼻を触るお子さんは気を付けてあげましょう。

なかなか止まらない、1日に何回も出る、頭を打った後の鼻血は要注意です。

鼻血の処置

小鼻をつまむ



タオルで冷やす ガーゼをつめる

